

天真爛漫

題字 天真爛漫 指揮 新居浜市立泉川小学校長 高橋 美鈴 解説は3面



「ロシア兵墓地」を清掃する木曜会

松山ロシア兵墓地保存会

会長 菅 田

顕

発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスボーワール愛媛文教会館内
電話 (089)945-8644
FAX (089)945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

(8) (6) (4) (3) (2) 学校紹介 喜須来小学校
(7) (5) 特集 「旅・たび」
ふるさとスケッチ
ローカルトピックス

松山市御幸町1丁目の妙見山中腹には「ロシア兵墓地」がある。そこには1904年(明治37年)に起こった「日露戦争」で日本軍の捕虜となり、松山の地に送られてきた兵士の墓標が立っている。彼らは、重傷者や重病者で、ハーフ条約の下、手厚い看護のかいもなく、祖国への帰還の希望叶わず静かに息をひきとり、異国松山の地に埋葬された兵士98名である。墓標は116年の歳月を経た今も整然と、そして故国北の方角に向かい、凜とした佇まいをして清麗な靈園の中に立つてい。今、この「ロシア兵墓地」

を37年間絶えることなく毎月第2土曜日の午前中に、生徒達が参加して清掃奉仕活動に精を出しているのが松山市立勝山中学校である。また、「ロシア兵墓地保存会」に属し、墓地清掃奉仕活動の一翼を担っているのが、私達8名の「木曜会」メンバーである。清掃奉仕活動は毎月奇数週の木曜日午前10時までに集合し、各々が気付いた所を清掃することになっている。

100個程ある花立てにつ一つ花を生ける者、等、ちり取りを持つてそれぞれの墓地を清掃する者、トイレやその周辺を清掃する者、階段を清掃する者、生徒会と共に記念

一略歴一
(すげた・あきら)
平成6年 松山市立清水小学校長
平成9年 定年退職
平成14年 松山市教育会会長
会長

聞響 ▼清楚で気品高く、早春、百花に先がけて咲く梅の花は、古来より詩歌にうたわれて来た▼天平2年1月13日大伴旅人の邸宅で開かれた「梅花の宴」で詠まれた32首の歌が万葉集中5巻に収録されており、元号「令和」の基になったことは周知の如くである▼数学者で作家の藤原正彦氏は、著書「祖国とは国語」の中で、「國家の根幹は国語教育にかかっている。国語は論理を育み、情緒を培い、全ての知的活動・教養の支えとなる読書する力を生む」と述べている▼有名な科学者や文学者が、幼い頃から漢文や和歌の素読を繰り返していたことにもふれています。「もてなしの心を纺ぐ」心となつて、充実感に包まれる一時を「木曜会」は過ごしている。「木曜会」は過ごしている。

まさに、草の根の活動を通して「もてなしの心を纺ぐ」心となつて、充実感に包まれる一時を「木曜会」は過ごしている。

「梅」輪一輪ほどの暖かさ

ひととこと



愛媛県小中学校長会
副会長
友近 裕識

今年度久米小学校は、創立130周年という区切りの年を迎えるました。一言で130年と言いましても、子どもたちには「ピン」とことないでしよう。そこで、児童会を中心的に、久米小学校の歴史を振り返り、先人への感謝の気持ちをもつことができる「創立130周年記念集会」を企画し、昔の写真を取り入れ、その当時の学習の様子や生活などを学びました。

6年生は、その130年の内、6年間、1年生は1年間、久米小学校の長い歴史に時を刻みながら、校訓「くめよいこ」を目指して努力しています。

6年生を例に挙げますと、久米つ子のリーダーとして活

躍しています。毎朝の通学班長として安全な登校、挨拶運動、自主清掃など、自分の責任をしつかりと果たしてくれています。歴代の6年生の姿をしつかりと見てきたからこそ、「リーダーとしての心構えや行動力」を引き継いでくれているのだと思います。まさに先人から学んできている

また、学校教育を振り返つてみると、地域の方々や関係諸機関との連携の大切さを

今年度久米小学校は、創立130周年という区切りの年を迎えるました。一言で130年と言いましても、子どもたちには「ピン」とことないでしょう。そこで、児童会を中心へ、久米小学校の歴史を振り返り、先人への感謝の気持ちをもつことができる「創立130周年記念集会」を企画し、昔の写真を取り入れ、その当時の学習の様子や生活などを学びました。

に汗する営みを通して絆を深め、学校の風土として根づいていくものであると思います。

これまで取り組んできたことを受け継ぎ、子どもたちの学びを積極的に進める中で、関係の皆様との連携を図り、絆を深めながら、「久米の教育」の充実に努めてまいります。

毎週水曜日の昼休み、多くの児童が学校前の銅像の下に集まって掃除をしています。1年生から6年生まで、全校児童のほとんどが参加しています。掃除の時間ではなく、教師に声を掛けられるでもなく、児童が自主的に行っています。この活動は「前田山の銅像をきれいにし隊」と言います。児童が集まっている銅像は、大相撲第39代横綱「前田山英五郎」です。「前田山」



学
校
紹
介

喜須来小学校の先輩 「前田山英五郎」

No 215

八幡浜市立喜須来小学校

は、本校の卒業生です。戦後初の横綱となつた人物で、闘志あふれる取り口と強烈な張り手で名を馳せました。引退後

力保障のための補充学習を行う中で、活動をスタートすることはできませんでした。しかし、このような状況下でも児童の中には、「前田山の銅像をきれいにし隊」の活動を行いたいという強い思いがずっと残っていました。

後は、大相撲の海外巡業を実現したり、外国人力士第1号の「高見山」を育てたりするなど、大相撲の国際化に貢献しました。

9月、県内の感染状況が落ちておらず、隊長と副隊長を中心に本格的な活動が始まりました。給食時間に校内放送で隊長が全校児童に呼び掛け

本校では、大先輩にあたる「前田山」の偉業に敬意を払いい、学校前にある銅像の清掃活動が始まりました。本年度も4月、早速6年生が話合いをする隊長と副隊長を決める話し合いです。教師が声を掛けながら、自分たちが中心と

けます。「今日、前田山をきれいにし隊を行います。掃除道具を持つて前田山の銅像に集まつてください。」時間になつたら、児童が続々と銅像の下に集まつてきます。そして、6年生の指示で、草引きや落ち葉拾いが始まります。どの子も一生懸命に自主的な

なごて活動を進めていくとして、う思いがしつかりと受け継がれていています。残念ながら本年度は、役員が決まつた段階で、新型コロナウイルス感染に伴う緊急事態宣言による臨時休業期間に入ることとなりました。5月25日の学校再開後も、感染症対策を徹底した

清掃に取り組んでいます。

本校には、「前田山記念相撲大会」という学校行事もありますが、本年度は開催できませんでした。しかし、これからも児童が先人を思う気持ちを大切にしながら、愛校心やふるさとを愛する心を育てていきたいと思います。

新たな学校生活の習慣化や学

(教頭
菊地
公明)

題字に寄せて
天 真 燥 漫



新居浜校市長 高橋 美鈴

誰もが経験したことのない2020年。だからこそ見方をチャンジ! 「コロナ禍だからこそできること」を教職員と知恵を出し合つた1年であつた。

中でも場所を中庭に替え、4日間開催としたハーモニーコンサートでは、泉州つ子の笑顔が輝いた。最終日の校長講話では、歌声への感謝と感動に代えて子どもたちに四字熟語を贈った。1年生一生懸命、3年生全力投球、4年生意気投合、5年生以心伝心、6年生一期一会、合唱クラブ一意専心、全校切磋琢磨、そして2年生天真爛漫である。子どもたちから元気をもらは30余り。自慢は東中南予にふるさとができたこと。目に浮かぶ東予新居浜・中予松山・南予城川の天真爛漫な子どもたちの笑顔に感謝。

菊の花咲くご自宅を訪問させて頂くと、案内されたのは少し離れた広場にある秘密基地の手作り小屋。ご主人の協力で建てられ、川柳を作ったり、大正琴仲間との練習や近所の方との交流の場になつたりしていると嬉しそうに話していただきました。

1 事務職員として尽力
井関先生は、昭和39年東京オリンピックの年、高卒で公立小中学校事務職員として勤務されました。事務職員未配置校の多かった時代から、全校配置となり、センター方式へと変遷した40年の間、教育現場での縁の下の力持ちとして子どもたちや教職員の為に尽くされました。

また、保護司としても12年間地道な活動をされ、野村分区長として地域に貢献されました。県被害少年サポートや青少年補導委員もされるとともに、更生保護女性会の野村支部長として積極的に地域での奉仕活動に取り組まれています。

幼稚園や小学校・高等学校の学校評価委員として学校との関わりも持たれています。



井関真寿子 先生

訪問者 中野増美

(西予教育会OB)

2 地域で社会貢献と奉仕

退職直後、西予市野村地区主任児童委員として、子ども

の見守り活動や親の相談、行政への働きかけ等を9年間務められました。その間には子育て支援ネットワーク委員もされました。

また、保護司としても12年間地道な活動をされ、野村分区長として地域に貢献されました。県被害少年サポートや青少年補導委員もされるとともに、更生保護女性会の野村支部長として積極的に地域での奉仕活動に取り組まれています。

○ 我が人生ここが肝心返し縫い
○ 子を叱りながらの化粧
○ ムラになり

4 常に感謝の心で

事務職員として勤めた時、

他の先生方と全く同じ対応をして引き立てて下さった西予教育会員の皆様の心の広さに感謝。また、長年にわたる夫の協力と支えに感謝していると話された中に、夫婦円満の秘訣を垣間みた思いで、訪問を終えました。

井関真寿子先生(75歳)
(西予市野村町在住)

No.109



地域や人との関わりを大切にされ、何事にも真摯に考え方組まれる姿勢と奉仕の心は「無い知恵を振り絞つてやつてきたが、終わつてみれば有難い事だと思う。」と言われる言葉からも、強く感じられました。

3 忙中閑あり趣味の世界へ

本当に多忙だった退職後の生き方で思うことは、「忙中閑あり、心にゆとりを」とのこと。それは、お人柄と趣味の広さからも分かりました。

現職の頃から長年続けられている川柳や、退職直後に始められた大正琴、木目込み、裂き織り、絵手紙、ご詠歌。

近年始めた卓球は、中

高校時代に経験され、健康増進を兼ねてとのことでした。

(井関真寿子先生の川柳)

○ 子を叱りながらの化粧

ムラになり

特集 旅

大和路を歩く



四国中央教育会
OB
越村ゆかり

2019年4月、奈良の歩くイベントに参加した。数年前から、友人と近隣で催されている10～30kmのウォーキング大会に参加している。同じ歩くなら何か楽しみがある方がやる気が増すということ、奈良の大会を選んだ。決め手は、コース近くにある数々の歴史名所。

4月中旬、「大和路まほろばウォーク」は、橿原神宮を出発して明日香村を巡る20kmコース。タイムを気にしながら速歩の人。私たちのように名所を味わいながら、それなりに一所懸命に歩く人。快晴の田園風景の中をひたすら歩く。ノスタルジーな空間だ。コース中ほどで、キトラ、高松塚古墳に立ち寄る。勿論内部には入れない。ぐるりを

いちごに力をもった後、石舞台古墳へ向かった。石室内は広かつた。築き上げられた石が予想以上に巨大で圧巻いたと思えば感慨深かつた。時間内に無事ゴール。満足！半年後の秋。万葉の里に魅せられた私たちは「聖徳太子の里ウォーク」20kmコースも楽しんだ。

「あすかルビー」奈良の赤い宝石と呼ばれているいちごだ。名前は知っていたが食べる時は初めて。美しい赤、程よい酸味で甘くてジューシー。隣接するビニルハウスの採れたてを無人販売所に並べていた。幸運な出会いであつた。

天高く夜空でオリオン座が逆立ちしていました。我が目を疑いました。南半球に位置するオーストラリアでは、見慣れた星座が、全て逆立ちしています。旅は、今まで当たり前だと思っていた自分の価値観を揺さぶり、新たな気付きと感動を与えてくれます。

今治市豪州海外派遣団としてオーストラリアを旅した時のことです。児童生徒の引率者である教員も、ホームステイをしました。牧場を営むレッゲさんご夫妻が、私たちを温かく迎え入れてくださいました。見渡す限り広がる農園には100頭を超える牛が放牧されており、その地平線の先に夕日が沈んでいきました。まさに、絵に描いたような雄大な自然が目の前に広がっていました。レッゲご夫婦には、多くのことを教えていただきました。オーストラリア国旗の象徴でもある「南十字星」の見付け方、牛たち

た び



今治市上浦小
教頭
渡邊 秀樹

旅について考えた

①旅の仕方も年とともに変化してきたようだ。
②旅は楽しいけれど、私の旅は何かしらの後悔、心残りを伴っているようだ。



松山市教
和氣諭
山根 浩子

の飲み水を押借しに来る野生カンガルーの生態、コアラの主食であるユーカリの花、言葉を越えて、自然の美しさやすばらしさを共有しました。また、ご夫妻の息子さんが日本女性と国際結婚しているという事情もあり、オーストラリアと日本の文化や産業、生活でのつながりについても、つたない英語で語り合いました。

当初は不安げな表情を見ていた児童生徒も、すぐにパディやホストファミリーと笑顔を交わす姿を見せるようになりました。たくましいものでした。旅でのよい出会い、新しい環境が、人を大きく伸ばすことを実感しました。

十数年前の旅は、「子ども行きたい所、楽しめそうな所」だった。近場の遊園施設、キャンプ場など。それがここ最近は、「子どもや孫のいる所」になつた。少し遠かつた。しかし、我が家には飛行機に乗れない者がいる。仕方なく、夜行バスで東京に向かつた。体中が痛くなつたので、二度と乗らないと誓つた。昨年は県をまたいでの旅が難しく、県内の道の駅巡りをすることにした。南予方面に向かうことだけ決めて、道なりに進み、寄る所を決めた。中山、栗のアイスクリームがおいしかつた。メダカ10匹が500円。内子フレッシュユーパーク「からり」。箱買いしている人がいっぱいいるのを見て、急いで買った桃。すいかも買えばよかつた。一気に宇和島「きさいや広場」へ。海の幸どんぶりを食べ、真珠は見ただけ。新任校に寄ろうと思いつき、選んだ道が工事中。新しい道がどうつながっているのか理解できずにバス。行きたかった、買いたかった、食べてみたかったという思いが、また行きたいという思いにつながつている。それは、今回だけではない。家は、3回建てて理想の家になるという話を聞くが、旅も3

回ぐらいの訪問を合わせて、いい旅になるのかもしない。

一步一歩



大洲市教育会OB
村上 孝之

学生時代、登山に傾倒し、北アルプスの主要な縦走コースを踏破した。当初はテント泊での単独行仲間と共に山行の楽しさを知った。また、先輩たちから山岳会にも所属したことで、故郷で就職し、山から離れた。大学卒業後山岳会を退会、退職後、昔の仲間と再び一

台風一過、雨の中を登った東北の山小屋で単独行の70代の女性に出会った。当夜の泊りは私たちのパートナーと、彼女だけだった。ランプの灯火の下、皆で山の歌を歌い、語り合った。高齢にもかかわらず、20代からずつと単独行を貫く彼女の体験談や山への姿勢に深い感銘を受けた。

晚秋の北アルプスの山小屋で、登山を始めたばかりの年配の夫婦がしみじみと言つた。「しんどくとも、一步一歩進めば、必ず頂上に着くことがわかつた。もつと若い頃から登山を始めていれば自分の人生も変わっていたと思

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）		
浅野 美杉様	88歳	元八幡浜市立松蔭小学校長 八幡浜市
越智 秀郎様	88歳	元西条市立西条小学校長 西条市
小池 實様	88歳	元大西町立大西小学校長 今治市
竹井 史一様	88歳	元久万町立畠野川小学校長 久万高原町
森岡 春夫様	88歳	元久万町立久万小学校長 砥部町

祝 受章おめでとうございます

令和2年度末の退職を控え、私はやりたい「夢・挑戦」の旅がある。それは、北海道バイク一人旅である。現職中は、長期休業といつても何らかの制約を受け、思い切った旅をすることができなかつた。「定年」という文字が見え隠れし始めたころから、「退職したら、何にも縛られず、思い切った旅をしなくてきた。ある時、既に退

う。」含蓄のある言葉に励ました。宿泊はテントから山小屋利用となつたが、山小屋泊には他の登山者との交流という楽しみがあることに気づいた。以下、山の出会いの一部を紹介したい。

また、一人の青年と私達だけの薬師岳山頂では、彼と話が弾み、北アルプスの大パノラマを堪能しながら2時間も一緒に過ごしてしまった。これからも、山の仲間との出会いを楽しみに、登山を続いているのだ。

「夢・挑戦」の旅



西予市城川小学校
井上 健

職中は、長期休業といつても何らかの制約を受け、思い切った旅をすることができなかつた。「定年」という文字が見え隠れし始めたころから、「退職したら、何にも縛られず、思い切った旅をしなくてきた。ある時、既に退

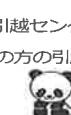
職されている先輩に思いを語られた。年々体力の低下を感じる今、私もまた自分に「一步一歩」と言い聞かせながら歩いているのだ。

お得な引越のご案内

愛媛県学校生協は（株）サカイ引越センターと提携をしております。学校生協組合員様とそのご家族の方の引越は、引越の基本料金から20%割引いたします。

お見積りは無料です

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話(089)925-0555
または 都市学校生活協同組合



株式会社
サカイ引越センター

まごころにゆめおつきあい



積立年金制度

明治安田生命は、みなさまとのよりよいコミュニケーションづくりに全力をつくしてまいります。

(制度引受幹事会社)

明治安田生命

四国公法人
営業推進部
〒760-0017 高松市番町1-7-5
TEL087-821-6811

第48回愛媛県教育会俳句募集入選句

協賛 愛媛県学校生活協同組合連合会

一般の部

投句者 48名 投句数 84句

吉田晃先生選

特選

海の色濃く成るあたり鰯が飛ぶ

(評) 作者の豊かな感性が窺える。海の色に違いがあること、鰯が跳ねること等全て自明の理だが、その一瞬の色彩と動きの光景を

切り取った心の豊かさがいい。

優秀

白南風や分教場の小さき椅子

芋の葉に透く水玉のうすみどり

赤ペンより鉢を持つ手の四月かな

少女らのはじける笑ひ秋桜

あさがおや孫の音読二階から

長崎の帰らぬ友や今朝の秋

セスナ機の音の余韻や終戦日

落ち葉舞ふ写生する子の前うしろ

デジタルの引き継ぎ文書春深し

新築の屋根に令和の初日差す

少年のゆるがぬ進路枇杷の花

冬に入る阿吽の像の力瘤

木偶の口カツと裂ける大暑かな	松山市	姫田みゆき
(評) 木彫りの人形がカツと口を開け、それは大きく裂けているのだ。阿波の木偶人形だろうか。髪を振り乱した鬼面の人形を想像した。その恐ろしい形相は内面の悲しさをも滲ませ、作者の心を熱くする。季語が効いている。	松山市	赤松 聖則
セスナ機の音の余韻や終戦日	松山市	吉川喜恵子
白南風や分教場の小さき椅子	松山市	吉川喜恵子
冬日差す海を背にしてイルカシヨー	松山市	田所 晴美
肱川の赤橋かすむ初あらし	伊予市	高市 札子
落ち葉舞ふ写生する子の前うしろ	松前町	村上 朋子
冬ざれの鈍き音漏れ船溜	大久保美香子	
赤蜻蛉追ひ掛ける児に夕日染む	松山市	池田 容子
鍋いつぱい煮込むシチューや冬に入る	新居浜市	中原 佳子
金婚の二人三脚日脚伸ぶ	松山市	永易まるみ
一面の紅葉吾子の靴彈む	松山市	徳吉 由美
冬に入る阿吽の像の力瘤	富永 正一	
薦紅葉廃墟の洋館凜と建つ	松山市	富永 正一
	池谷 美水	

佳作

セスナ機の音の余韻や終戦日

白南風や分教場の小さき椅子

冬日差す海を背にしてイルカシヨー

肱川の赤橋かすむ初あらし

落ち葉舞ふ写生する子の前うしろ

冬ざれの鈍き音漏れ船溜

赤蜻蛉追ひ掛ける児に夕日染む

鍋いつぱい煮込むシチューや冬に入る

金婚の二人三脚日脚伸ぶ

一面の紅葉吾子の靴彈む

冬に入る阿吽の像の力瘤

薦紅葉廃墟の洋館凜と建つ

ふるさとスケッチ

No.440

遍路の道しるべ



松山市教育会
〇B

大森 理

は自然石。

たは石工の遊び心と思われる指の示し方。これはここ以外

日本では見られない。内外のお遍路さんも驚嘆。文字は「貞享二乙丑 右 遍ん路道 三月吉日 法房」

道標のある限り法房の名前は残る。しかし、場所柄ほぼ気づかることなく、静かに時の流れを見つめている。

復亭二乙集

四国で2番目に古い遍路道標が坂本と
荏原の境に近い所にある。久谷の道標全

ご冥福をお祈りします	村上
鈴木 西谷 齋田 佐伯 山本 岡田 岩松 矢野 福樹 満野 満野様	照子様 瞳矩様 太郎様 弘人様 正治様 格様 勉様 ヤ子様 秀雄様
92歳 90歳 103歳 92歳 92歳 87歳 91歳 90歳 92歳 90歳 92歳 97歳	宇和島市吉田町立間尻甲二〇九六一 松山市井門町三三三 南宇和郡愛南町城辺乙八番 西予市野村町小松二只 西条市丹原町丹原三三三 八幡浜市松柏丙一七 新居浜市高津町三一九 伊予郡松前町北黒田毛二 新居浜市吉岡町二二三 松山市柳原二二三
2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
12 12 12 12 12 11 11 11 11 10 10 4	12 12 12 12 12 11 11 11 11 10 28 27
31 24 17 17 1 27 26 8 28 27	31 24 17 17 1 27 26 8 28 27

國づくりを進めていきました。その教えを地方にも広めたのが、淨明院を開いた行基とその弟子たちでした。行基は、人々のために橋や道、池や水路などをつくつたり、49のお寺を開いたりしたと言われており、淨明院もそれらの一つであつたと考えられます。

味生小・味生第二小校区には、北斎院の大徳寺、南斎院の宝積寺、山西の常福寺など淨明院の末寺も数多くあり、行基とのゆかりを感じます。

また、味生小学校がある「別府」という地名も行基によつてつけられたと伝えられ

稻岡さんの法律豆知識

No 11

最近の困難な 事例から

第三事例

でしょうか。

分からぬ人もいるらしいと
聞き及びました。

(文教月報編集協力委員
松山市立味生小学校長 尾脇 康資

編集出版部情報

新しい学習資料の発刊：ENGLISH

- ◆現場の先生方の実践を生かした資料
 - ◆観点別に診断・評価する一助となる資料
 - ◆聞く力（別途CD作成）を重視した資料